

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年11月1日

上場会社名 株式会社イトヨーギョー 上場取引所 東
 コード番号 5287 URL <http://www.itoyogyo.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 畑 中 浩
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理部長 (氏名) 霞 良 治 (TEL) 06-4799-8850
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-----------------|-------|----------------------------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 26年3月期第2四半期 | 975 | △11.2 | △55 | — | △54 | — | △57 | — |
| 25年3月期第2四半期 | 1,098 | 21.1 | △65 | — | △63 | — | △74 | — |
| | 1株当たり 四半期純利益 | | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 | | | | | |
| | 円 銭 | | 円 銭 | | | | | |
| 26年3月期第2四半期 | △19.34 | | — | | | | | |
| 25年3月期第2四半期 | △24.86 | | — | | | | | |

(2) 財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | |
|-------------|-------|---|-------|---|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 26年3月期第2四半期 | 3,717 | — | 3,024 | — | — | 81.4 |
| 25年3月期 | 3,907 | — | 3,096 | — | — | 79.3 |

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 3,024百万円 25年3月期 3,096百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年3月期 | — | 0.00 | — | 7.00 | 7.00 |
| 26年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 26年3月期(予想) | — | — | — | 7.00 | 7.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 | |
|----|-------|-----|------|------|------|-----|-------|------|----------------|--|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 | |
| 通期 | 2,400 | 0.3 | 40 | 10.4 | 45 | 2.3 | 36 | 11.3 | 12.06 | |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

| | | | |
|----------|------------|----------|------------|
| 26年3月期2Q | 3,568,000株 | 25年3月期 | 3,568,000株 |
| 26年3月期2Q | 583,731株 | 25年3月期 | 583,731株 |
| 26年3月期2Q | 2,984,269株 | 25年3月期2Q | 2,984,269株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|--------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | 6 |
| (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 | 7 |
| (4) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期におけるわが国経済は、平成24年12月の政権交代による景気・経済対策への期待感から円安や株価上昇が進行するとともに、企業収益及び雇用情勢の改善や個人消費の持ち直しが見られるなど、景気は回復基調で推移いたしました。

当社の関連する業界におきましては、東日本大震災後、公共事業関係費が復興、防災関連に優先配分されておりましたが、国土交通省の平成25年度道路関係予算において復興、防災関連以外の取組みとして「無電柱化の推進」「交通安全対策」「道路インフラの長寿命化」などの方針が掲げられており、これらをはじめとして公共事業は全般的に増加基調にあります。また、具体的施策として、昨年、国土交通省道路局と警察庁交通局より無電柱化等の道路空間の整備指針を含む「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」が発出されました。さらに、平成25年5月に、道路の防災、減災の観点から、道路法等の一部が改正され、無電柱化を促進する措置が講じられました。

このような状況の中で、当社は交通事故対策ともなる自転車通行の優位性強化製品である「ライン導水ブロック」、中期ビジョンの核となる無電柱化対策製品である「D. D. BOX」等の道路製品の技術開発、販売促進に尽力してまいりました。しかしながら、平成25年7月に実施された参議院選挙の影響により公共事業において道路製品等の発注遅れが生じたこと、また各地で発生した局地的な集中豪雨等の影響により道路工事において施工時期の遅れが生じたことにより、当社製品においても受注時期が当初計画より遅れる結果となり、当第2四半期累計期間における売上高は当初計画を下回りました。

その一方、中期ビジョンである「自ら需要をつくれる企業」に向けた実践、永続企業に必要な「持続可能な収益モデル」の早期確立のために、新設いたしました「開発営業部」を中心として、民間市場における環境対策商品である「ヒュームセプター」や「ドルフィンウォーターケア」などの独自性・優位性をさらに高めた製商品の提供に尽力するとともに、独占販売権を取得している海外商材の国内民間企業向け販売やネットビジネスについてのマーケティングなどの「販売のための仕組みづくり」に継続して取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期累計期間の売上高は9億75百万円（前年同期比11.2%減）、営業損失は55百万円（同9百万円の改善）、経常損失は54百万円（同8百万円の改善）、四半期純損失は57百万円（同16百万円の改善）となりました。

当第2四半期累計期間におけるセグメントの業績は次のとおりであります。

(イ) コンクリート関連事業

コンクリート関連事業の売上高は7億68百万円（前年同期比3.9%増）、セグメント損失は41百万円（同36百万円の改善）となりました。

先述の各種諸要因により、当社製品の中で特に付加価値の高い道路製品の受注時期に遅れが生じたため、当第2四半期累計期間における当初計画を下回る結果となりました。しかしながら、同期間における道路製品の売上高が前年同期に比べ増加したことや製造原価の削減及び生産効率の改善等の成果により、セグメント損失の改善につながっております。

前事業年度において掲げております事業課題の一つである「新たな生産体制の確立と各部門との連携強化」に関しましては、旧岡山製造所から加西工場へ製造用機械を移設するなど増産体制を整備するとともに、将来必要となるD. D. BOXをはじめとする製品の在庫置き場の確保を見据え、加西工場の近隣地を取得するなど、生産効率の改善・強化を図ってまいりました。

(ロ) 建築設備機器関連事業

建築設備機器関連事業の売上高は1億77百万円（前年同期比45.8%減）、セグメント損失は11百万円（同27百万円の悪化）となりました。

前年同期において利益率の低い大型機械の販売があったこと、また先述の各種諸要因の影響により公共事業案件における受注時期が遅れたことにより、同事業の売上高は前年同期・当初計画ともに下回る結果となりました。

(ハ) 不動産関連事業

不動産関連事業の売上高は29百万円（前年同期比4.7%減）、セグメント利益は10百万円（同9.5%減）となりました。売上高、セグメント利益ともにほぼ当初計画どおりに推移いたしました。

（2）財政状態に関する説明

① 当第2四半期末の資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第2四半期会計期間末の流動資産は16億13百万円となり、前事業年度末に比べ2億13百万円減少しました。

商品及び製品の増加28百万円、受取手形及び売掛金の減少1億54百万円、現金及び預金の減少81百万円が主な理由であります。

当第2四半期会計期間末の固定資産は21億3百万円となり、前事業年度末に比べ23百万円増加しました。

有形固定資産の取得による増加47百万円、償却進行等による有形固定資産の減少24百万円が主な理由であります。

この結果、総資産は37億17百万円となり、前事業年度末に比べ1億90百万円減少しました。

（負債）

当第2四半期会計期間末の流動負債は3億92百万円となり、前事業年度末に比べ1億13百万円減少しました。

支払手形及び買掛金の減少1億17百万円が主な理由であります。

当第2四半期会計期間末の固定負債は3億円となり、前事業年度末に比べ4百万円減少しました。

長期未払金の減少などによる固定負債その他の減少3百万円が主な理由であります。

この結果、負債合計は6億92百万円となり、前事業年度末に比べ1億18百万円減少しました。

（純資産）

当第2四半期会計期間末の純資産は30億24百万円となり、前事業年度末に比べ71百万円減少しました。

利益剰余金の減少78百万円が主な理由であります。

② 当第2四半期キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末の現金及び現金同等物は6億42百万円となり、前事業年度末に比べ81百万円減少しました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、25百万円（前年同期1億16百万円の資金獲得）となりました。

収入の主な内訳は、売上債権の減少1億67百万円、支出の主な内訳は、仕入債務の減少1億29百万円、税引前四半期純損失55百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、34百万円（前年同期2百万円の資金獲得）となりました。

支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出34百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、22百万円（前年同期15百万円の資金使用）となりました。

支出の主な内訳は、配当金の支払額による支出20百万円であります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、第2四半期中盤より公共事業における発注が増加しており、当社製品及び工事物件の引き合い及び受注の状況も堅調に推移していることから、平成25年10月25日に公表いたしました業績予想から変更いたしておりません。

2. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成25年3月31日) | 当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日) |
|-------------|-----------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 729,470 | 647,679 |
| 受取手形及び売掛金 | 691,173 | 536,192 |
| 電子記録債権 | — | 344 |
| 商品及び製品 | 329,072 | 357,471 |
| 原材料及び貯蔵品 | 35,714 | 43,998 |
| 未成工事支出金 | 965 | 645 |
| その他 | 45,587 | 31,781 |
| 貸倒引当金 | △4,423 | △4,146 |
| 流動資産合計 | 1,827,559 | 1,613,967 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物（純額） | 205,905 | 224,011 |
| 土地 | 1,104,395 | 1,108,408 |
| その他（純額） | 125,540 | 127,309 |
| 有形固定資産合計 | 1,435,840 | 1,459,728 |
| 無形固定資産 | 1,381 | 1,306 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資不動産（純額） | 515,679 | 508,870 |
| その他 | 165,443 | 171,923 |
| 貸倒引当金 | △38,766 | △38,768 |
| 投資その他の資産合計 | 642,356 | 642,025 |
| 固定資産合計 | 2,079,578 | 2,103,060 |
| 資産合計 | 3,907,137 | 3,717,028 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 381,835 | 264,507 |
| 未払法人税等 | 3,245 | 3,815 |
| 完成工事補償引当金 | 267 | 267 |
| 賞与引当金 | 20,983 | 36,422 |
| その他 | 99,195 | 87,002 |
| 流動負債合計 | 505,526 | 392,014 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 93,741 | 92,953 |
| その他 | 210,968 | 207,065 |
| 固定負債合計 | 304,709 | 300,018 |
| 負債合計 | 810,236 | 692,033 |

(単位:千円)

| | 前事業年度 (平成25年3月31日) | 当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日) |
|--------------|-----------------------|----------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 500,000 | 500,000 |
| 資本剰余金 | 249,075 | 249,075 |
| 利益剰余金 | 2,650,459 | 2,571,860 |
| 自己株式 | △312,957 | △312,957 |
| 株主資本合計 | 3,086,576 | 3,007,977 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 10,324 | 17,017 |
| 評価・換算差額等合計 | 10,324 | 17,017 |
| 純資産合計 | 3,096,901 | 3,024,995 |
| 負債純資産合計 | 3,907,137 | 3,717,028 |

（2）四半期損益計算書
第2四半期累計期間

（単位：千円）

| | 前第2四半期累計期間 （自平成24年4月1日 至平成24年9月30日） | 当第2四半期累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年9月30日） |
|--------------|---|---|
| 売上高 | 1,098,389 | 975,345 |
| 売上原価 | 736,952 | 579,714 |
| 売上総利益 | 361,436 | 395,630 |
| 販売費及び一般管理費 | 426,474 | 451,326 |
| 営業損失（△） | △65,038 | △55,695 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 20 | 18 |
| 受取配当金 | 810 | 840 |
| 仕入割引 | 133 | 311 |
| スクラップ売却益 | 1,159 | 194 |
| 貸倒引当金戻入額 | — | 275 |
| 雑収入 | 852 | 559 |
| 営業外収益合計 | 2,975 | 2,200 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 219 | — |
| 減価償却費 | 62 | 52 |
| 為替差損 | 803 | 137 |
| 支払手数料 | — | 600 |
| 営業外費用合計 | 1,085 | 790 |
| 経常損失（△） | △63,147 | △54,285 |
| 特別損失 | | |
| たな卸資産除却損 | 32 | — |
| 固定資産売却損 | 911 | — |
| 固定資産除却損 | — | 1,012 |
| 社葬関連費用 | 6,684 | — |
| 割増退職金 | 1,494 | — |
| 特別損失合計 | 9,123 | 1,012 |
| 税引前四半期純損失（△） | △72,271 | △55,297 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,932 | 2,411 |
| 法人税等合計 | 1,932 | 2,411 |
| 四半期純損失（△） | △74,203 | △57,709 |

（3）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

| | 前第2四半期累計期間 （自平成24年4月1日 至平成24年9月30日） | 当第2四半期累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年9月30日） |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前四半期純損失（△） | △72,271 | △55,297 |
| 減価償却費 | 27,713 | 29,607 |
| 貸倒引当金の増減額（△は減少） | 489 | △275 |
| 賞与引当金の増減額（△は減少） | 6,943 | 15,439 |
| 退職給付引当金の増減額（△は減少） | 293 | △787 |
| 受取利息及び受取配当金 | △830 | △859 |
| 支払利息 | 219 | — |
| 為替差損益（△は益） | 892 | △189 |
| 固定資産売却損益（△は益） | 911 | — |
| 固定資産除却損 | — | 1,012 |
| 売上債権の増減額（△は増加） | 88,201 | 167,921 |
| たな卸資産の増減額（△は増加） | 35,735 | △36,364 |
| その他の流動資産の増減額（△は増加） | 2,118 | 521 |
| その他の固定資産の増減額（△は増加） | 242 | 214 |
| 仕入債務の増減額（△は減少） | 77,065 | △129,805 |
| 未払消費税等の増減額（△は減少） | △9,148 | △901 |
| その他の流動負債の増減額（△は減少） | △24,830 | △8,457 |
| その他の固定負債の増減額（△は減少） | △6,444 | △6,165 |
| 小計 | 127,301 | △24,389 |
| 利息及び配当金の受取額 | 820 | 859 |
| 利息の支払額 | △219 | — |
| 法人税等の支払額 | △1,705 | △1,944 |
| 和解金の支払額 | △9,222 | — |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 116,975 | △25,474 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △3,815 | △34,317 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 6,388 | — |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 2,572 | △34,317 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| リース債務の返済による支出 | △806 | △1,367 |
| 配当金の支払額 | △14,799 | △20,821 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △15,606 | △22,188 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △892 | 189 |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | 103,049 | △81,790 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 566,012 | 724,470 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 669,062 | 642,679 |

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | |
|-------------------------|----------------|----------------|-------------|-----------|
| | コンクリート 関連事業 | 建築設備機器 関連事業 | 不動産 関連事業 | 計 |
| 売上高 | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 740,054 | 327,751 | 30,583 | 1,098,389 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — |
| 計 | 740,054 | 327,751 | 30,583 | 1,098,389 |
| セグメント利益又は セグメント損失(△) | △78,144 | 16,135 | 11,313 | △50,695 |

(注) 各報告セグメントにおけるセグメント利益又はセグメント損失は、営業損益を使用しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

| 損失 | 金額 |
|------------------|---------|
| 報告セグメント計 | △50,695 |
| 棚卸資産の調整額 | △14,404 |
| その他(注) | 62 |
| 四半期損益計算書の営業損失(△) | △65,038 |

(注) 勘定科目の表示組替により発生した調整額であります。

II 当第2四半期累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | |
|-------------------------|----------------|----------------|-------------|---------|
| | コンクリート 関連事業 | 建築設備機器 関連事業 | 不動産 関連事業 | 計 |
| 売上高 | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 768,652 | 177,561 | 29,131 | 975,345 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — |
| 計 | 768,652 | 177,561 | 29,131 | 975,345 |
| セグメント利益又は セグメント損失(△) | △41,644 | △11,566 | 10,235 | △42,975 |

(注) 各報告セグメントにおけるセグメント利益又はセグメント損失は、営業損益を使用しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

| 損失 | 金額 |
|------------------|---------|
| 報告セグメント計 | △42,975 |
| 棚卸資産の調整額 | △12,497 |
| その他(注) | △223 |
| 四半期損益計算書の営業損失(△) | △55,695 |

(注) 勘定科目の表示組替により発生した調整額であります。